2025 軽耐久シリーズ

競技規則書

■重要なお願い

競技規則書や車両規則書に定められた事項はすべて順守ください。車両規定について、参加クラスにより変更範囲が異なることがあります。再度、車両規則書などの関係書類をよくお読みいただき、変更範囲内の改造をお願いします。現在実施している車検では、時間や設備などによる制約もあり、すべての項目において確認することはできません。つまり、皆さんの良識にお願いしている部分が多々あるわけです。しかしながら、確認できないから変更してもかまわないということではありません。定められたルールは順守いただき、その範囲でレースをお楽しみいただくようお願いいたします。なお、様々な疑義が生じたチームについては、その場で確認できる場合は「クラス変更」とともに「減算ペナルティ」を科すことがございますので、あらかじめご了承ください。これは、「車両を購入した時点で変わっていた（未必の故意）」なども同様です。なお、すべてに対する決定権限は主催者判断となりますことも併せてご承知ください。

お問合せは「問合せ専用メール」にてお願いします。写真なども添付していただくと、回答もスムーズにおこなえます。頂戴した質問内容・写真および回答内容は、原則として当社ホームページ「軽耐久内」の“Q&Aページ”にてすべての方に開示いたします。これは、より公平にすべての方に情報が伝達されることを目的としており、質問者様の許可なく掲載いたします。また、質問や回答は随時更新していきますので、Q&Aページはよくチェックしてください。開示している内容を「知らなかった」ということは認められませんので、併せてご了承ください。

■問合せ先

・申込や競技内容について

株式会社ツインサーキット　軽耐久事務局　TEL：059-372-2401　／　FAX：059-372-2402　／　E-mail：info@twincircuit.co.jp

・車両規則など車両に関する全般について

レインボーカラーズ株式会社　TEL：0566-91-3779　／　E-mail：info@rainbowcolors.jp

■2025年変更点

・キャンセルについて （P. 6）
・ピット・パドック使用に関する注意事項 （P. 8）
・音量基準について （P. 10）
・スタート方法 （P. 12）
・ピットイン、ピットアウト （P. 13～15）
・義務ピットインおよびピット作業 （P. 16）
・給油に関して （P. 16～20）
・減算ペナルティ （P. 25）
・レースの終了 （P. 27）

※追記（2025年7月18日追記） 給油作業について （P. 20）

■給油に使用する予備燃料は車検時に申請したもののみ使用することができる。
■給油作業を行う場合には、事前（ピットインする数分前）に必ずオフィシャルにその旨を申告しなければならない（無申告はペナルティの対象となります）。
■保管している携行缶から移し替えることはできるが、移し替え作業を行う場合にもオフィシャルにその旨を申告し、確認を受けること。
またその際には給油作業員と同等の服装で作業にあたること。
■給油作業は、エンジンを停止し、ドライバーが乗車していない状態で行わなければならず、必ずドアを閉めて作業をすること。
また、給油作業が終了するまではドライバー交代をおこなってはならない。

1. 開催日程

Round. 1 ： 7月6日（日） ／ Round. 2 ： 9月7日（日） ／ Round. 3 ： 12月21日（日）

2. 主催

株式会社ツインサーキット（協力：レインボーカラーズ株式会社）

3. 開催場所

鈴鹿ツインサーキット フルコース（1800m） 住所：鈴鹿市三宅町2913－2

※バックストレート部分は「S字コーナー」を使用する。

4. 参加資格

■日本国内で有効な普通自動車運転免許を所持している18歳以上の方

※免許取得後6か月以上経過していること。（免許証を確認する場合があるので持参すること。）

■サーキットのマナーやルールを守り、走行・観戦ができる方

5. 参加料金

■1チーム：50，000円/1ラウンドあたり（サーキット傷害保険代、自動計測器代含む）

※入場料金について

参加受理証送付時に1チームあたり6枚の入場チケットを同封する。入場チケットは当日持参し、入場ゲートスタッフに渡すことにより入場料金が免除される。忘れた場合、入場料金（500円/名）が必要。未使用の入場チケットの返金はおこなわない。

■シリーズ固定ゼッケン取得料金：1，000円/年間（初回参加時に参加料金と併せて振り込むこと。）

※参加チームはすべて固定ゼッケンのみとなる。全チーム固定ゼッケン取得必須！

6. 参加人数

1チームあたり：3名～6名（当日提出の参加誓約書に登録されているドライバーであれば交代、順番、回数など自由。）

7. 参加クラス

OTクラス（オープン_トゥデイクラス） / OPクラス（オープンクラス） / CLクラス（クローズドクラス） / NMクラス（ノーマルクラス）

8. 参加台数

全クラス合計：35チームまで

9. 参加申込方法

■申込受付期間

各開催日の受付開始前に当社ホームページ内で発表する。（申込受付期間外の受付は一切おこなわない。）

■申込方法

①当社ホームページよりWEB申込をおこなう。（FAXや郵送では受付しない。）

・受付開始は申込受付開始日の深夜0：00～となる。（それ以前の送信分は無効となりデータも削除される。）

・必要項目をすべて入力しなければ申込として受理されない。

・WEB申込受付後、申込受信メールを返信するので確認すること。

申込受信メール：当社側でWEB申込を受信したことを申込者へ自動返信するメールであり、この時点では申込受理とはなっていないので要注意！

②参加料金を下記口座に振り込むこと。

三菱UFJ銀行　春日井支店　普通口座　№4660927　口座名義：株式会社ツインサーキット

・振込人名はWEB申込時に入力した代表者の名前とすること。

・振込手数料は参加者負担とする。

・振込確認は三菱UFJ銀行のインターネットバンキングでおこなう。

・振込順はインターネットバンキングでの表示順で決定し、申込受理漏れやピット位置などの苦情は一切受け付けない。
・受付開始日前の日付での着金は受付開始日にWEB申込、振込したチームの最後尾扱いとなる。
・振込以外での支払い方法は一切受け付けない。ただし、やむを得ない事情で振込以外しか入金できない場合は、事務局に事前相談の上、許可を得た場合に限り、特例措置として認めるが、その日の受付分の最後尾扱いとなる。

■申込の成立

「WEB申込」と「入金確認（振込）」が取れてはじめて、申込成立とみなす。（確認が取れ次第、事務局より参加受理証類を郵送する。）

・隣接ピット希望ありの場合、すべての隣接希望対象チームの申込および入金が完了していなければ処理されず、後回しとなるので要注意！
・「確実に申込受付される方法は？」や「どの金融機関からの振込が早いの？」などは一切お答えできない。

注）過去の大会では申込受付開始日にエントリー締め切りとなってしまったこともあったので申込時には注意ください！

注）振込については受付開始日前に振込日指定で振込手続きをされているチームが多いようです。

■キャンセルについて・・・必ず事務局へ電話すること（メールでの連絡は不可）

※各開催日の1週間前までのキャンセル ⇒ 事務手数料1，000円を差し引いて返金する。

※上記を超えてからのキャンセル ⇒ キャンセル不可。返金できない。（リタイヤ扱い）

■車両申請書について（事務局から郵送する参加受理証に同封します。）

開催日1週間前までに必要事項を記入の上、FAXすること。

10. 参加受付

■参加チームの代表者は受付終了時間までに受付事務所にて参加受付を完了させること。

■参加受付に必要な書類・・・（登録ドライバー全員の署名、捺印のある）参加誓約書

11. 自動計測器

■自動計測器はサーキットスタッフが各チームのピットを回り、後部ナンバープレート付近へ取り付ける。

■主催者が貸与する自動計測器以外のMYLAPS社製およびAMB社製のトランスポンダーを取り付けてはいけない。
ただし、ラップショットやP－LAPなど主催者の計測装置に影響のない計測機器の取り付けは自由とする。

■自動計測器は決勝終了後30分以内にコントロールタワー1Fの受付事務所まで返却すること。時間内に返却がなければ失格とする。

■リタイヤの場合はリタイヤ届け出時にあわせて返却すること。

■自動計測器を破損、紛失した場合、いかなる理由を問わず、その原状復帰費用として1台あたり50，000円（税込）を主催者に支払わなくてはならない。

12. ゼッケン

■ゼッケンは各チームで用意し、車検前までにレース参加車両に貼り付けておくこと。

■貼り付け箇所（4か所）・・・①ボンネット左上（車内から見て左手前）、②左ドア、③右ドア、④リアハッチ付近

■字体について　色・・・黒（書体はゴシック体）、サイズ・・・①②③：高さ・幅200mm、太さ30mm程度、④：高さ・幅150mm、太さ20mm程度。

■ゼッケンが見づらいと判断した場合やゼッケンが作成できないチームは、当社作成のゼッケンを購入する。（2，000円/4枚）
※ゼッケンの作成可否はWEB申込時に申告すること。

■ゼッケンベースは白。雨などでベースが破れ、滑落しないよう各自工夫すること。

■クラスゼッケン・・・ゼッケンベースの四辺にクラス識別用の枠線をつけること。枠線の太さは20mm程度。
※オープン_トゥデイクラス：青色枠、オープンクラス：緑色枠、クローズドクラス：黄色枠、ノーマルクラス：ピンク枠

13. ピット・パドック使用に関する注意事項

■使用ピットは主催者が割り当てる。申込受理順のため屋根付きピットも電源も使用できない場合がある。（ピットの指定はできない。）
・ピットの割り当てに関する抗議、質問、変更依頼などは一切受け付けない。
・チーム間でのピット位置の変更は認めない。

■屋根付きピットのチームは自チームのピットの柱にある電源を使用可能。
・他チームの使用電源からのタコ足配線による使用は認めない。

■屋根付きピット以外が割り当てられたチームで電気の使用が必要な場合は、自前で発電機を持込み、使用してもよい。

・発電機への給油は認めるが、火災などに十分注意すること。

・発電機はピット裏（パドック側）に置くものとする。可能な限りポータブル電源などを使用することを強く推奨する。

■ピット内（建物の屋根下、屋根のないエリアでは建物と横並びの枠で区切られたエリア）、およびピット作業レーン（ピット前コンクリートエリア）、ファストピットレーン（アスファルト走路）、ピットサインエリアでの火気使用は一切禁止とする。

・カセットコンロ、ガスバーナー、ストーブ、喫煙（加熱式タバコ含む）など火を取り扱うものは一切禁止とし、発見された場合は即失格とする。

■使用ピットに消火器を常備すること。（使用ピット1つにつき、1本の消火器が必要）

・車載用消火器とは別に、粉末重量2．0Kg以上（またはCO2　2．0kg以上）の消火器を常備すること。

・使用期限内、または製造から10年以内のものであること。

■ペット類（介助犬など除く）のパドック入場、および16歳未満の者のピットエリアへの出入りは原則禁止する。

・グリッドウォークまたは決勝スタート進行時においても、抱きかかえられる子供を除き、必ず手を引いて離さないようにすること。

ベビーカーでの立入は禁止。

■ピットロードやピットエリアでは下記の行為は危険のため禁止とする。

・傘（日傘を含む）の利用。

・ハイヒール、草履、サンダルの着用。

14．車検

■各回のスケジュールで定める時間に各チームのピットにて実施する。

・登録されたドライバーやメカニックの最低1名以上が立ち会うこと。

・クラス別の車両規則に合致しない場合、上位クラスへ変更の上、減算ペナルティ（10周）が科されることを条件に大会への参加を認める。

・規則または安全上、出走に不適格と判断された場合は大会への参加は認めない。

■車検完了後、車両の変更は認められない。違反したチームは失格となる。

■主催者は大会中、随時車検を実施できることとし、参加チームはそれを拒否できない。

15. ドライバーズミーティング

■場所、時間は場内アナウンスで案内する。登録ドライバーは全員参加とする。

・ミーティング時間内はエンジンストップ厳守。音によりミーティングの妨げになる機器（発電機など）もすべて停止すること。

16. 装備品

■ヘルメット（フルフェイスタイプ） ※ジェットタイプは使用禁止

・SNELL規格またはJIS C種が望ましい。

■長袖、長ズボン（厚手のもの）

・怪我や火災から身を守ることを考慮し厚手の綿素材のものを強く推奨する。レーシングスーツ（ダブルレイヤー以上）が望ましい。

■シューズ（運転に適したシューズ）

・ドライビングシューズが望ましい。

■グローブ（自動車ドライビング用で指先まで覆うもの）

・軍手や指が切れたグローブは使用できない。

17. 走行における注意事項

■4点式以上のシートベルトを装着すること。

■運転席側の窓は2/3以上閉めること。オープンカーが屋根をオープンにする場合、運転席側の窓は全閉にすること。

・ウインドウセーフティネット装着の場合は全開でもよい。

・（同乗走行時を除き）助手席および後部座席は全開でもよい。オープンカーも同様。

■故意に規定の走路からコースアウトしたり、コースをショートカットすることは禁止される。

・状況によりペナルティとなる場合もある。 予選：該当タイム抹消。 決勝：減算ペナルティ（1周）

■ランオフエリアやダートエリアに進入した場合、安全を確認の上、速やかに規定の走路に戻ることができる。

・砂や砂利を巻き込み、コースオフィシャルよりピットインを命じられた場合は、直ちにピットインし、洗車場にて洗車をおこなわなければならない。

（決勝中、このピットインは義務ピットイン回数に含まれない。）

■大会期間中、如何なる場合でも危険な運転行為をおこなってはならない。（状況に応じてペナルティの対象となる。）

・「故意に衝突する」、「他の車両のコースアウトを強いる」、「ストレートでの必要以上な急減速」など

■事故や故障によりコース内で停車する場合、競技中の他の車両の妨げにならないよう、走路外のダートエリアに停車（コーナー付近の危険箇所は避ける）し、降車せず、装備類を外さずに車内で待機すること。

・その後の対応はコースオフィシャルの指示に従うこと。

■走行中の服装について

・「グローブを外している」、「袖まくりをしている」などはペナルティの対象となる場合がある。

■音量基準について

・メインポストに音量測定器を設置し、フリー走行、予選、決勝を問わず、絶えず測定をおこなう。

・当サーキット既定排気音量基準105dBを満たすこと。違反した場合は減算ペナルティ（10周減算）となる。

18. フラッグについて

■チェッカーフラッグ

・フリー走行、予選：セッション終了

・決勝：レース終了

■イエローフラッグ（黄旗）・・・前方にてスピン車両、停止車両、落下物などあり。

・静止：減速し注意して走行すること。

・振動：該当箇所または次のポストまで速度を落とし、追い越し禁止。

■レッドフラッグ（赤旗）・・・走行やレースが継続できない重大な事故やトラブルが発生。

・フリー走行、予選：走行中断。減速し速やかにピットインする。追い越し禁止。

・決勝：レース中断。追い越し禁止。減速して進みオフィシャルの指示に従いメインストレート上で停車。

■グリーンフラッグ（緑旗）・・・コースクリア

・フリー走行、予選：コースイン可能。

・決勝　スタート時：フォーメーションラップ開始。　赤旗再開時：ローリングスタート開始。

■オレンジボール（黒地にオレンジの〇）＋ゼッケンボード：当該チーム車両トラブルあり

・この旗を振られゼッケンボードで掲示されたゼッケンNo.の車両は速やかにピットインすること。ピットイン後、スタッフの指示に従うこと。

19. フリー走行

■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限なし。

■助手席への同乗走行は認められる。ただし、登録されているドライバーのみであり、装備類はドライバーと同様でなければいけない。

・同乗者はグローブ着用必須ではないが推奨とする。

■フリー走行終了後は指定ピットへ戻ること。

■フリー走行では自動計測器の動作確認もおこなうため、必ず全チームとも自動計測器が取り付けられた状態で最低1周以上は走行すること。

20. 予選

■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限なし。

■同乗走行は禁止。走行は登録ドライバーに限る。

■予選後は指定ピットに戻ること。

21. 中断・再開（フリー走行および予選）

■走行続行が危険と判断した場合、全ポストで赤旗振動により、走行中断が合図される。

・各車減速の上、速やかにピットインすること。

■再開についてはピットロードエンドの信号を「緑」点灯およびメインポストから「グリーンフラッグ振動」で知らせる。

・その後は各自の判断で再コースインしてもよい。

■フリー走行および予選中の赤旗中断から再開までの時間はロスタイムとしては扱わない。

22. 決勝グリッド

■決勝グリッドは予選結果のタイム順で決定する。

■予選でタイムを残せなかったチームはタイムの残った最下位のチームの後ろのグリッドとなる。

・タイムを残せなかったチームが複数チームある場合、ゼッケンNo.の小さい順とする。

23. スタート方法

■スタートはスタンディングスタート（グリッドスタート）となる。

①決勝開始１５分前ごろにピットロードエンド付近に整列するようアナウンスが入る。

・各チームは車両をピットロードエンド付近に速やかに移動すること。

②ピットロードエンドの信号が「緑」点灯されたら、各車速やかにコースインする。

③コースイン後、１周回し、ホームストレート上のダミーグリッドに整列し、エンジンを停止する。

・チーム員はコース内に入り、自チームの車両のグリッド整列の補助をしてもかまわない。

・コース上に立ち入る際には、かかとのある靴を履いていなければならない（サンダル禁止）。

・競技車両以外の台車、荷車、ベビーカー、その他車輪のついたものはコース入場を禁止する。

（車いすの方、松葉杖など歩行補助器具が必要な方はが立ち入る際には、必ず事前にオフィシャルに申告してください。）

・１３歳未満の方が入場する場合には、保護者が抱きかかえるか、必ず手をつなぐかなどをすること。

・グリッド上ではリバースギアを使用してはいけない。（必要時は人力でバックする。）

・グリッド上では「ホイールナットの増し締め」、「タイヤのエアチェック」、「車載カメラのスイッチ操作」、「窓ふき」 以外の作業は一切禁止とする。
違反した場合、ペナルティストップ（忠告）となる。

④フォーメーションラップ開始３分前・・・隊列前方もしくはメインポストにて「３分前ボード」が掲示される。

・第1ドライバー、オフィシャルを除くすべての者はコース上から退去する。

・レーススタートまではコンクリートウォールやピットロードへの入場禁止（ピットサインエリアまで下がる）

・ピットロードエンドの信号が「赤」点灯。

・この時点でグリッド整列できない車両およびトラブルなどによりコースインできない車両はピットスタートとなる。

⑤フォーメーションラップ開始１分前・・・隊列前方もしくはメインポストにて「１分前ボード」が掲示される。

・ドライバーは着座した状態でエンジンを始動する。

⑥フォーメーションラップ開始・・・メインポストにて「グリーンフラッグ」が振動される。

・隊列、順番を保ったまま、コースを１周回する。

・トラブルなどでスタートできない車両は手をあげるなどしてコースオフィシャルおよび後続車両に合図を送ること。

コースオフィシャルの補助でエンジン始動を試み、スタートできれば速やかに隊列の最後尾につく。スタートできない場合はピットスタートとなる。

⑦スターティンググリッドへの整列

・各車両は各自のスターティンググリッドへ整列し、エンジンを始動したまま待機する。

⑧レーススタート

・全車両が整列完了したことが確認されると、メインシグナルの「赤」が点灯する。その後、約２～５秒後に赤が消灯（ブラックアウト）し、スタートとなる。

・ピットスタートの車両はレーススタート後コースオフィシャルが安全を確認した後、ピットロードエンドの信号を「緑」点灯させたらスタートできる。

24. ピットイン・ピットアウト

■ピットロード走行方法、ピットイン方法について

・ピットインする車両は第２ヘアピン付近からコースの左側に寄り、左ウインカーもしくはハザードで後方車両に合図を送った後、安全を確認しピットロードへ進入する。

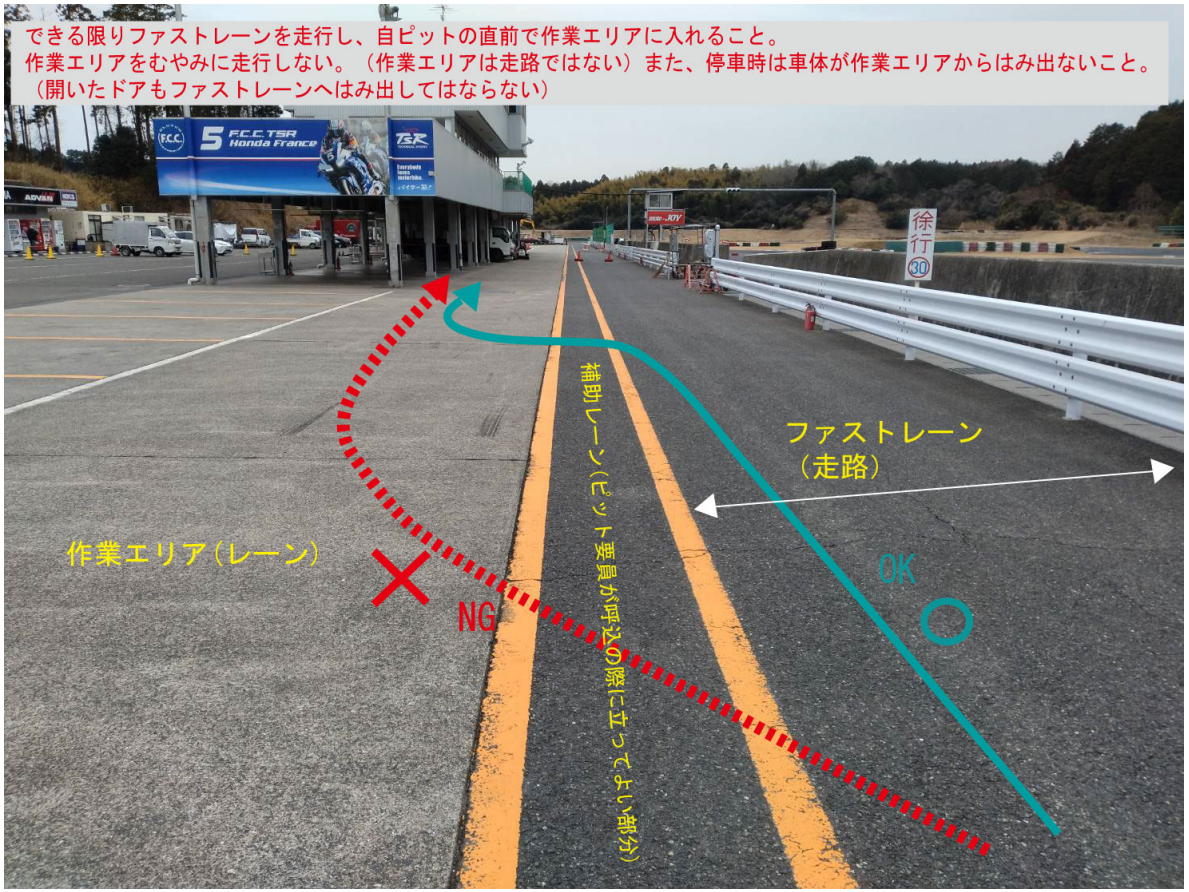
・ピットインする際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいでピットインしてはいけない。

※ゼブラカット（ゼブラゾーンをまたいでのピットイン）・・・フリー走行：警告、予選・決勝：ペナルティストップ（忠告）

・ピットレーン（ウエルカムゲートよりピットロードエンドまでの区間）は、アスファルト部であるピットファストレーンを走路とし、コンクリートエリアは作業レーン（作業エリア）として使用する。それに挟まれた部分は補助レーン（ウェイティングエリア）とする。

・ピットレーンではファストレーンを走行すること。むやみにそれ以外の走路を走行してはならない。また、ファストレーンを走行する他の車両の進路を妨害してはならない。

・ピットインする場合には、できる限りファストレーンを走行し、直前で自ピット前作業エリアまたはピット内へ停車すること。（下記図参照）



■ピットロードでの制限速度について

・40km以内とし、横断者や他の車両などに十分注意すること。抜き打ちでスピードガンにて計測することもある。

※ピットロードに設置の3か所のパイロンゲートがあるので、必ずそのゲートを通過すること。

※パイロンゲート不通過、パイロン接触、制限速度超過などの場合、減算ペナルティ（1周）が課される。

■ピットアウトについて

・ピットロードエンドの信号が「緑」点灯しているときのみに限られる。

※違反した場合（信号が「赤」なのにコースインした）・・・フリー走行：警告、予選・決勝：ペナルティストップ（3分停止）

・ファストピットレーンを走行している車両に基本的に優先権がある。
その進行を妨げないように、安全な間隔をもってファストピットレーンに出なければならない。
危険行為と見なされた場合には、アンセーフリリースとしてペナルティの対象となる。（1周減算）

・ピットアウトの際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいでコースに合流してはいけない。

※ゼブラカット（ゼブラゾーンをまたいでコースへ合流）・・・フリー走行：警告、予選・決勝：ペナルティストップ（忠告）

・ピットアウト後、コースに合流する車両は、第2コーナー左側の縁石が終了するあたりまでコースの左側を走行し、後方からの車両の走行を妨げない。

・ピット作業エリアおよびファストピットレーンにおいては、原則として押し掛けは禁止とする。やむを得ず押し掛けをする場合には、必ずオフィシャルに申告し前方および後方に他の車両がおらず、押し掛けに必要と思われる区間および周囲の安全が確保されたタイミングで、オフィシャル立会いの下でのみおこなうことができる。

■ピットでの注意事項

・ピット内（建物の屋根下、屋根のないエリアでは建物と横並びの枠で区切られたエリア）、およびピット作業レーン（ピット前コンクリートエリア）、ファストピットレーン（アスファルト走路）、ピットサインエリアでは逆走禁止、バックギア使用禁止。

※自チームのピットを通り越した場合、ピットスタッフ承認の上、エンジンを停止し、ドライバーおよびメカニックが人力で後ろ向きに押し、自チームのピットにつけることができる。その際、他チームのピットインやピットアウトする車両の通行や作業を妨害してはならない。

・ピットでの違反行為や、危険な作業、行為があった場合は、ピット作業違反としてペナルティの対象となる。（1周減算）

25. 義務ピットインおよびピット作業

■決勝スタートからチェッカーまでの間に5回以上、義務ピットインをしなければいけない。5回未満の場合減算ペナルティ（3周）となる。

・ピット作業（ドライバー交代、車両修理・調整）や給油、ピットスルーだけなどいずれのピットインも義務ピットインとしてカウントされる。

・以下のピットインは義務ピットインとしてカウントされない。

※赤旗やSC対象車両が自力でピットインしたとき

※オレンジボールフラッグ対象車両がピットインしたとき

※ドライブスルーやピットストップなどのペナルティ対象車両がペナルティ実行のためにピットインするとき

※その他、コースオフィシャルから強制的にピットインを命じられ、ピットインするとき

■ピットストップ時のエンジン停止は問わないが、安全面に留意し、危険のないピット作業を心がけること。

■ピット前作業エリアに車両を停めて作業をおこなう場合には、車体のいかなる部分も作業エリア（コンクリート部）からはみ出してはならない。

・ドアの開閉に注意し、できる限り車体は左寄りに停車させること。

■ピットでの作業は安全に注意しなければならない。

・ジャッキアップを伴う作業や、作業が長時間になる場合は、ピット内（建物の屋根下、屋根のないエリアでは建物と横並びの枠で区切られたエリア）にておこなうこと。

■ピット作業レーン（ピット前コンクリートエリア）、ファストピットレーン（アスファルト走路）、ピットサインエリアでは、かかとのある靴をはくこと。

・草履、サンダルは認められない。

■ピットを水浸しにするような行為は、出火などの緊急時を除いては慎むこと。

・ラジエターやタイヤの冷却の場合は噴霧器などを準備し、それを利用すること。

■タイヤ交換について

・回数の制限はなし。

・交換時には必ずピットスタッフに「交換する」旨の申告をすること。（ピットスタッフがタイヤ銘柄などを確認する。）

・申請のないタイヤ交換は「ペナルティストップ」とし、ペナルティ実行時にタイヤ銘柄などの確認をおこなう。

26. 給油に関して

■決勝中、必ず1回以上は給油をおこなうこと。決勝中の給油がなければ減算ペナルティ（3周）とする。

■給油作業は、各チームのピット前作業エリアでおこなう。（給油エリアはありません。）

■持込可能総量は40リットルまでとする。（携行缶20リットル×2缶）

■燃料持込申請について

・車検時に持込燃料の申請をおこなう。時間外申請は失格となり、フリー走行、予選を含むレースへの参加ができない。

■消防法に適合した市販品の20リットルの金属製ガソリン携行缶（横置きタイプ）を使用すること。
本体、ノズルなどへ加工は一切禁止とする。
・給油時は直接人の手から給油しなければならない。
・保管している携行缶から移し替えることはできるが、同等の携行缶で給油作業をしなければならない。
・使用可能形状は下記写真を参照。違反時は失格とする。
ただし、給油に使用せず保管用としての容器は上記条件を満たしているものであれば形状は問わない。

※横置きタイプを使用すること

※縦置きタイプや円柱タイプは使用不可（ただし保管用に限り使用を認める）

■燃料保管、取り扱いについて
・競技開催日、各チームは給油を各自でおこなうが、揮発性が高く危険を伴う作業であることを関わる全員が強く認識しなければならない。
取り扱いについて火気は厳禁とし、静電気や漏れなどもないようにすること。
・予備燃料の持込は各チームでおこない、保管については、消防法に基づき、携行缶1つをピットエリアの指定位置（ピット前側、ピットロード沿い側）に置くこと。（複数ある場合は、サービスカーの中など、別の場所に保管しておき、順に1つずつ使用すること。）

ピット内の予備燃料保管場所

■1回の給油作業は20リットルまでであり、車両1台に対して携行缶1缶まで（あらかじめまとめておくこと）とする。

■給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えなければならない。

■給油要員および消火要員は下記服装で対応すること。

・ヘルメット、グローブ（軍手は禁止）、長袖、長ズボン、靴（サンダル、クロックスなどは禁止）を装着のこと。

・レーシングスーツなど、難燃性の衣服着用が望ましい。静電気防止（帯電防止処理）されたツナギ服以上のものを強く推奨する。
・ナイロン製のジャンパー、長袖コンプレッションウエア（着圧ウエア）のみ、半袖に腕カバーなどは認められない。
・手足を曲げ伸ばしした際に裾や袖から肌が露出する状態になってしまう衣服、毛羽立った衣服など、火が付着しやすい（燃え移りやすい）衣服は禁止。
※外観でオフィシャルが不可と判断する場合がある。
・軍手での給油作業は禁止。耐火性能のあるレーシンググローブかワークグローブを推奨する。
帯電防止・耐油のゴム製の手袋も推奨される。
・フルフェイスヘルメットを着用してバイザーを閉める（必ず全閉！）か、または難燃性繊維のバラクラバとゴーグル着用で作業にあたること。
・給油作業の際には、電気を使用する衣服（空調服などの電動ファンがついたもの、電熱線などが組み込まれ暖を取るものなど）、ハンディファン、
ネックファンクーラーなど、火花が散る可能性があり着用禁止とする。（電源が入っている、いないに係わらず着用してはならない。）

■給油中はエンジンを必ず切ること。
■給油作業中（フィラーキャップが開いている間）は、給油以外の一切の作業（軽微なものも含む）をおこなってはならない。
その際、給油作業者以外は車両に触れてはならない。

↓↓↓ 以下4項目追記 2025年7月18日 ↓↓↓

■給油に使用する予備燃料は車検時に申請したもののみ使用することができる。
■給油作業を行う場合には、事前（ピットインする数分前）に必ずオフィシャルにその旨を申告しなければならない（無申告はペナルティの対象となります）。
■保管している携行缶から移し替えることはできるが、移し替え作業を行う場合にもオフィシャルにその旨を申告し、確認を受けること。
またその際には給油作業員と同等の服装で作業にあたること。
■給油作業は、エンジンを停止し、ドライバーが乗車していない状態で行わなければならず、必ずドアを閉めて作業をすること。
また、給油作業が終了するまではドライバー交代をおこなってはならない。

↑↑↑ ここまで追記 2025年7月18日 ↑↑↑

■燃料の入った携行缶を開封し、ノズルを装着し、空気バルブを緩めるのは、給油直前とし、燃料がこぼれないよう、細心の注意を払わなければならない。
万が一こぼしてしまった場合には、速やかにオフィシャルに申告し、火災を防止するための処理をおこなわなければならない。
また、その際、車両や機材、ピットに水や消火剤がかかる場合もあるが、それに対する補償や抗議は一切受け付けない。
処理について処理費用の請求をされた場合は、各チームはそれに応じて支払わなければならない。

■ペナルティについて

・給油に関する違反（給油規定違反）は減算ペナルティ（1周）が科せられる。

27. レース中断（赤旗）および再開

■レース中断（赤旗）

・アクシデントなどにより、レースの続行が難しいと判断した場合、赤旗を掲示してレースを一時中断させることがある。

・赤旗は全ポストー斉に掲示される。（この際にすでにピットインしている車両のコースインはできなくなる。）
全車両とも赤旗掲示を受けたら、そのまま徐行した状態で周回し、ピットインし、ファストピットレーン上で車両を停車させ、エンジン OFF すること。
このピットインは義務ピットイン回数に含まれることとする。

・ドライバーの降車や交代禁止、全ての作業（軽微なもの含む）禁止、給油禁止、ピットボックスへの車両進入も禁止。チームスタッフが車両に近づくことも禁止。ただし、ドライバーの水分補給のため、オフィシャルに申告の上、チームスタッフ1名のみが飲料を手渡すことは認められる。
違反した場合は減算ペナルティ（3周）が科せられる。

・ファストレーンで整列・待機が原則だが、車両トラブルなどにより、自ピットに戻って作業したい場合はオフィシャルにその旨を申告する。
許可が得られたら、オフィシャルの指示するエリアまでチーム員が手押しで移動させて待機すること。
その後、レース再開後にチーム員が手押しで、ピット裏を通し、自ピットボックスまで戻すこと。
※再スタート進行時のローリングラップには加わることはできず、競技再開後にピットから競技に再び加わることができることを理解しておくこと。
※同様にレース再開後でなければ給油もできない。

■コースイン～整列順の並び替え（コースクリア後）

・ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった時点でコースインが可能となる。
この時点でコースインできない車両はレース再開するまではコースインできない。ピットロードエンドの信号も「赤」にし、コースインを禁止する。

・セーフティーカー先導に隊列を整えたままコースを周回し、コース内のウエルカムゲート手前でコースオフィシャルの指示に従い、停車すること。
この際、セーフティーカーはメインポスト手前まで進入するが、追従せずに、オフィシャルの指示があるまで停車を継続すること。

・赤旗が出た周回の1周前の周回時の暫定トップ車両を先頭とし、計時ラインの通過順で並び替える。
オフィシャルの指示に従い、前方に停車しているセーフティーカーの後ろまで移動し、隊列を組み、停車すること。

■レース再開

・ローリングスタート開始の合図はメインポストにてグリーンフラッグ振動にて知らせる。
・セーフティーカーを先導にスタートし、原則として“1周”のローリングラップをおこなう。
・セーフティーカーがピットインし、代わりに暫定トップ車両が隊列を先導し、メインポストにて、グリーンフラッグが振動表示され、
メインシグナルが「緑」点灯したら、レース再スタートとなる。
・ローリングラップは前車との間隔を5車身以内に保たなければならない。前車との間隔が開き過ぎた車両はドライブスルーペナルティとなる。
・ローリングラップは基本的には1周とするが、状況により2周以上走行する場合もある。メインポストからグリーンフラッグが掲示されず
“1LAPボード”が出た場合はもう1周フォーメーションラップを継続するという意味なので、その指示に従うこと。
※再スタート進行のローリングラップも正式周回としてカウントされる。
・ローリングスタート～レース再開までの間は追い越し禁止（ドライブスルーペナルティ）とする。
判定は主催者の計測装置から出力された結果で判断し、ローリングスタート時の計時ライン通過順と再スタート後の計時ライン通過順を比較し、
ペナルティの判定をおこなう。

■再スタート進行のローリングラップに加わることのできない車両について
・レース再開後、コース上の全車両がメインストレートを通過し、安全が確認された後、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった時点で
コースインが可能となる。

■赤旗対象車両について
・コースから自力でピットへ戻れる場合
※結果的に走行に問題がなくても、必ずピットインしなければならない。（義務ピットインには含まれない。）
※問題点を解決し、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみレースへの復帰は可能。
※ただし、コースインできるタイミングはコースクリア後のコースイン開始時にコースインできない車両と同様である。
※万が一、コースクリア後のコースイン開始時にコースインできない車両と同じタイミングでコースインする場合、その最後尾からのコースインとなる。
・コースから自力でピットへ戻れない場合
「エンジンがかからない、ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ
自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

28. フルコースコーション（セーフティーカー導入）

■アクシデントなどにより走行に支障があるが、中断の必要がない場合に導入される。

・全ポストー斉に「SCボード」と黄旗（イエローフラッグ）を振動表示。

・メインストレートのメインシグナルが「黄」点滅される。

・ピットロードエンドよりセーフティーカーが導入され、フルコースコーションとなる。

※すべての走行車両は最徐行。追い越し禁止。（追い越しペナルティあり）

※ピット出入口を封鎖するため、一時的にピットイン/ピットアウトができない。

※この時点でピットに残存している車両のコースインのタイミングは制限される。

・セーフティーカーはコースイン後、暫定トップ車両がセーフティーカーの直後につくまで、その他の車両を追い越させる。

※追い越し指示を出された車両は速やかにセーフティーカーを追い越し、隊列の最後尾に回ること。

※暫定トップ車両のゼッケンはメインポストで掲示するので、各ドライバーは確認すること。

・セーフティーカーが暫定トップ車両の前に入り、隊列が整った後、コース上の安全が確認されるまではセーフティーカー先導のまま
周回を重ねるが、この間の周回数はカウントされる。

※ピット入口は開放され、ピットインしての給油作業、ドライバー交代、点検作業などは認められる。

・（コース上の安全が確認され）レース再開の際、セーフティーカーはメインポスト前で全灯火類およびパトライトを全消灯し、その状態でコースを2/3周し
最終コーナー付近からアウトラインに寄り、ピットインする。

・セーフティーカーがピットインし、代わりに暫定トップ車両が隊列を先導し、メインポストにて、グリーンフラッグが振動表示され、メインシグナルが「緑」点灯
したら、レース再開となる。

※全車両はメインポスト前を通過するまで追い越しをしてはならない。

注）フルコースコーション中にマシントラブル、ガス欠などにより隊列走行の維持が困難な場合は、後続車両に合図を送り、アウトラインを走行すること。
他の車両は当該車両の追い越しをしてもよい。

■フルコースコーション中にピットインした車両について

・セーフティーカーが暫定トップ車両の前に入り、隊列が整ったことを確認。

・以降、①～③を繰り返す。

①セーフティーカーを先導とした隊列の最後尾がメインストレートを通過し、1コーナー付近に差し掛かったあたりで、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わり、コースイン可能となる。

②コースインした車両は速やかに隊列最後尾につく。（追い越しは禁止）

③隊列最後尾（ピットからコースインした車両）がピラミッドコーナー付近に差し掛かった時点でピットロードエンドの信号が再び「緑」→「赤」に変わり、コースイン不可となる。

■セーフティーカー導入対象車両について

・コースから自力でピットに戻れる場合

※結果的に走行に問題が無くても、必ずピットインしなければならない。（義務ピットインには含まれない。）

※問題点を解決し、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみ、レースへの復帰は可能。

※セーフティーカー導入中の再コースインはできない。コースインできるタイミングはセーフティーカーがピットに戻り、コース上の隊列が再スタート後、ピットロードエンドの信号が「緑」になるまでは再コースインできない。

※万が一、セーフティーカー対象以外の車両が並んでいる場合、その最後尾からのコースインとなる。

・コースから自力でピットへ戻れない場合

※「エンジンがかからない。ギアが入らないなどでまったく自力で動かない」、「グラベルでスタックし、コースオフィシャルが手押ししなければ自力で脱出できない」などはすべてリタイヤ扱いとなる。

29. 各種ペナルティ（予選・決勝が対象。フリー走行中は警告のみ）

■「ドライブスルーペナルティ」

・対象車両に対して、メインポストより「DP」ボードとゼッケンボードを掲示。

・速やかにピットインし、ピットロードを40km/h未満で通過する。（ピットへの停車禁止）

※対象となる違反

☆黄旗掲出時追い越し（フルコースコーション時も同様）

☆赤旗～レース再開時追い越し

☆（赤旗再開時）フォーメーションラップ中の車間開けすぎ

■「ペナルティストップ」

・対象車両に対して、メインポストより「PS」ボードとゼッケンボードを掲示。

・速やかにピットインし、ピットロードを40km/h未満で通過し、ペナルティ実行場所のピットストップエリアに停車し、コースオフィシャルの指示に従う。

※忠告のみ：対象となる違反

☆スターティンググリッド上で許可されていない作業を実施した場合

☆（ピットイン、コースイン時の）ゼブラゾーンカット

☆運転席側窓開き走行

☆ウインカー・ハザード走行

☆服装違反（袖まくり、裾まくり、グローブ未着用など）

☆危険運転

☆申告なしのタイヤ交換

☆その他（競技長判断）

※3分停止：対象となる違反

☆ピットロードエンド信号無視

※「ドライブスルーペナルティ」や「ペナルティストップ」は、ペナルティボードを掲示されてから3周以内に実行されない場合、ペナルティボード無視として「5周減算」とする。（ボード掲示はその時点で終了する。）

※ペナルティ実行のためのピットインは義務ピットイン回数にカウントしない。

※「運転席側窓開き走行」、「ウインカー・ハザード走行」、「服装違反」については、救済措置として発見次第、メインポストより違反改善を促すよう警告ボードを掲示し、3周以内に改善されれば追加ペナルティなどはないものとする。ただし、改善されない場合はペナルティストップとなる。

■「減算ペナルティ」

・1周減算

◇故意によるコースアウト、コースやコーナーをショートカットした場合（予選：「該当周のラップタイム抹消」）
◇給油規定違反（給油に関する違反全般）
◇ダブルチェッカー
◇ピットロードでのパイロンゲート不通過、パイロンへの接触、制限速度超過
◇アンセーフリリース
◇ピット作業違反

・3周減算
◇義務ピットイン回数（5回未満）違反
◇決勝中、1回以上の給油をしていない
◇赤旗ピットイン時に待機中のファストピットレーンで許可されていない作業を実施した場合

・5周減算
◇ペナルティボード無視

・10周減算
◇車検にて車両規則に合わず、上位クラスへ変更となり、大会へ参加する場合
◇音量規定違反

・その他
◇レース終了間際で各種ペナルティの実行ができない場合（減算数は競技長判断）

※上記以外でも競技長判断で減算ペナルティが実行される場合がある。

■「失格」
・ピット内での火気使用や喫煙（加熱式タバコなども含む）、給油（発電機への給油以外）などがあった場合
・規則や安全上、走行に不適格と判断された場合
・車検後に車両変更した場合
・競技車両で施設外へ出た場合

・給油エリア内での火気使用、喫煙（加熱式タバコなども含む）などがあった場合
・規則書で使用可能と謳っている燃料持込容器以外の形状や素材などの容器を使用した場合
・決勝後30分以内に自動計測器を返却しなかった場合
・飲酒後に運転しようとした場合（運転しなくても運転席に乗り込んだ時点で失格）
・再車検でレギュレーション違反が発覚した場合
・他チームや大会関係者などへの暴言、暴力などがあった場合（失格とともに今後の出入り禁止を伴う場合もあり）
※上記以外でも競技長判断で失格とする場合もある。
※失格となった場合でも、エントリー費などの返金は一切おこなわない。

■「リタイヤ」
・レース中、如何なる状況であっても、下記の状態になったチームはリタイヤとみなす。
◇コース上や安全位置で止まったが、いかなる理由にかかわらず、自力で再スタートできない。
◇グラベルなどに入り込み、まだ走行は続けられるも、自力で脱出できない。
◇自力復帰できるも、低速でしかピットへ戻れず、他の参加チームの妨げになり危険であると競技長が判断した場合。
◇自力復帰できず、レース進行上、危険位置のため、コースオフィシャルが牽引車両などでピットへ戻した場合
※上記以外でも競技長判断でリタイヤとする場合がある。
※下記の場合はリタイヤとして扱わない。
・ピットインの際、ピットループを超え、ピットロードへ進入後、動けなくなった場合、チーム員が手押しでピットへ戻す。
・ピットアウトの際、ピットロードエンドの信号の手前のピットロード上で動けなくなった場合、チーム員が手押しでピットへ戻す。
・上記のケースで、他の車両の進路を妨害すると判断し、コースオフィシャルが一時的に手押しし、邪魔にならないスペースへ移動させた場合

30. レースの終了

■決勝レース終了時間の3分前でピットクローズとなる。（コースイン側のみクローズとなる。）
・この時点でピットにいるチームは再コースインできないため、リタイヤ扱いとなる。

・ピットクローズ後、トラブルなどにより、チェッカーを受けずにピットインすることは可能だが、再コースインはできないため、リタイヤ扱いとなる。

■決勝レースの終了時間を経過した後に、トップ車両に対してメインポストよりチェッカーフラッグが振られ、レース終了となる。

■チェッカーを受けた車両は、ハザード点灯し、スローダウンの上、コースを1周回し、コースオフィシャルの指示に従い、メインストレートで停止すること。

※ダブルチェッカーは減算ペナルティ（1周）となる。

31. 順位の決定

■順位認定はメインポスト下の計測ラインを通過し、かつメインポストでチェッカーを受けて周回を完了した車両に対して与えられる。（完走扱い）

■順位はチェッカーを受けた車両の中で周回数の多い車両から決定する。同一周回の場合は計測ライン通過順位によるものとする。

■走行周回数が各クラスのトップ車両の走行周回数の70%未満（端数切捨て）の車両は順位の認定を受けられない。（非完走扱い）

32. 抗議など

■「フリー走行開始～予選終了まで」と「決勝終了後15分以内」に競技長に対してチーム代表者が申告すること。それ以外の抗議は一切受け付けない。

33. 再車検

■レース終了後に上位入賞車両（暫定）に対して再車検の指示が出ることがある。対象クラスなども当日決定する。

■再車検場所は当日チェッカー後、対象車両に別途案内する。

■再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は失格とする。

34. 賞典

■各レースの表彰はクラス単位でおこなう。（総合順位ではない）

■賞典対象は各クラス別の参加台数により変動する。

※6台以上：1～3位（楯＋副賞） / 4～5台：1～2位（楯＋副賞） / 3台以下：1位（楯のみ）

35. シリーズポイント

■獲得ポイント（各ラウンド）

1位：20pt ／ 2位：15pt ／ 3位：10pt ／ 4位：8pt ／ 5位：6pt ／ 6位：4pt ／ 7位：3pt ／ 8位：2pt

※完走し、順位認定された場合のみポイントが付与される。

（リタイヤを含む非完走やレース後に規定違反で失格となった場合などはポイントが付与されない。）

※1ラウンドのクラス別参加台数が3台に満たない場合、そのクラスはポイント付与しない。

■シリーズ順位（クラス別）決定方法

・最終戦終了後、シリーズチャンピオンの暫定表彰をおこなう。

・最終戦終了後、各ラウンドの獲得ポイントを集計し、獲得ポイントがもっとも多かったチームをシリーズチャンピオンとする。

・同ポイントが複数チームの場合、総合周回数の多いチームが上位となる。（ポイント付与のあった各ラウンドの周回数を集計し、総合周回数を算出）

・総合周回数も同じ場合、シリーズ中のベストラップタイムの速いチームが上位となる。（ポイント付与のあったラウンドのうちもっと速いベストラップを採用）